

平成22年度 地域ケアプラザ事業計画書

1 施設名

浅間台地域ケアプラザ

2 事業計画

(1) 施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

高齢者や地域の住民が利用する施設として、安全かつ安心して利用して頂けるように施設整備の保守・感染症防止対策などを講じています。また確実な事業実施及び快適な利用に向けてメンテナンスを実施します。

諸設備の定期点検・定期清掃を行い、施設内を快適にご利用いただけるように努めます。

イ 効率的な運営への取組について

委託料について、人件費・事業費・事務費等の全てに渡し、物品等の購入の必要性を考慮し、適切な事務手続後、購入するなど無駄な出費を抑え、常に効率的な運営に心がけます。また各事業の目的を十分理解し、その特性が活かされるよう取り組みます。労務・経理は法人本部と連携を図り、事務の効率化に努めます。

ウ 苦情受付体制について

プラザが実施する事業について、利用者から苦情があった場合は、マニュアルに基づき、迅速かつ適切に対応します。

苦情担当職員は、管理者等に連絡をします。必要に応じて苦情調査検討委員会を開催し事実関係や改善策を検討します。その結果はご利用者に説明をします。

法人としても第三者委員会を設けています。職員間でも業務の振り返りや見直しを行い、改善をします。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

プラザでは、プラザ・養護・特養の3施設が、消防計画及び火災対策マニュアル・地震防災マニュアルに基づき一体的に対応します。また災害時における在宅要援護者の特別非難場所として避難場所・備蓄物資の提供をします。

防災訓練には積極的に参加し、日頃から適切な対応ができることを目指します。

また今年度は横浜市の協力のもと、土砂災害を想定した防災訓練も実施して参ります。

オ 事故防止への取組について

安全対策については、予め危険なものを排除するなどハード面の対策を実施するとともに、経験やヒヤリハットの情報を共有することにより、事故の危険を事前に察知し、必要な安全対策を講じます。

また、ミーティングでの打ち合わせやインシデントシートを活用することを通じ、職員に周知します。常にリスクマネジメントに意識を持ちます。

事故対策委員会も立ち上げ定期的な事例検討も行ってまいります。

カ 個人情報保護の体制及び取組みについて

個人情報保護に関する法令等を遵守し、個人の権利利益を損害することのないよう、個人情報を適正に取り扱います。

新職員には研修を実施し、誓約書を市に提出します。

職員は、常に他施設の類似の事例を通じて、振り返りをしていきます。

マニュアルの見直しも随時行っています。

個人情報保護基本規則及び同対策マニュアルに基づき、適切な実施に努めます。研修を通じて職員に常に意思づけます。施錠の徹底も行っています。

キ 情報公開への取組について

介護サービス情報公開制度に基づき積極的に応じます。

法人のリニューアルしたホームページを活用して地域の方に情報をオープンにしています。

ク 環境等への配慮及び取組について

シックハウス症候群・科学物質過敏症の対策として公共建築物シックハウス対策ガイドラインに基づき、日々換気を行い、工事の際には、必要な対策をとるなど適切に対応・維持します。

ごみの分別、節電・節水をスタッフに周知徹底し実行します。

車両は必要最低限に使用し、主な移動は自転車を使用しています。

(2) 職員配置・育成について

ア 職員体制について

実施要綱・人員配置基準に基づき資格要件を満たした専門職員を適切に配置します。

イ 職員の研修計画について

朝夕のミーティング及び職種毎の会議、またプラザ全体における部内研修、更に法人全体での研修会（年1回）を開催し、必要な研修及び情報提供等積極的に参加を促します。また、非常勤職員にも研修参加を促します。

各自スキルアップのための目標を設定し、それに基づいて研修を受けます。

OJT・OFF-JT いずれも支援します。

(3) 事業内容

ア 関係機関との連携について

各事業の特性に鑑み、区各部署・社会福祉協議会・その他サービス提供事業者等との綿密な連携に努めます。

地域小中学校から福祉体験学習を受け入れます。

看護学校・福祉学校からの実習生を受け入れます。

事業によって共催・事務局となり、地域の福祉貢献に努めます。

イ 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供について

自治会、民生委員・児童委員の会合に参加させて頂き、プラザの役割や自主事業の紹介を行い、地域の為のプラザであることを周知するよう年4回発行している広報紙・自主事業のチラシを配布するなど取り組んでいきます。また、参加させて頂く上記の場において、情報収集にも努めます。

プラザまつりでは、プラザの福祉保健活動の拠点であること等をPRします。

ウ 地域福祉のネットワークの構築について

地域活動交流としては、地域包括支援センターと連携し、自治会、民生委員・児童委員、地域団体の会合に参加させて頂き、関係作りに努めます。また、支えあいネットワークの拡大に取り組んでいきます。

また、既存の支えあいネットワーク、第6地区子育て分科会の活動紹介等を地域の子育てグループ・団体に行いネットワーク拡大に努めます。

ボランティア分科会に参加し、積極的に関係者との情報交換を実施します。

エ プラザの各機能を活用した、地域の福祉保健に関する拠点としての機能の発揮について

様々な相談事業や介護保険サービスの提供や地域に出向き、出張教室などを開催することなどを通じて地域の方からのご意見を伺い、それから見えてくる地域の課題をともに考え解決していくことを目指します。

予防支援事業を行います。

オ プラザ内の各部門間の情報共有の方法、連携等について

地域活動交流と地域包括支援センターは連携し、地域ニーズに合った自主事業の企画・運営に取り組みます。

同室内に各部門があるため、日常的にも情報交換を行っています。

また毎朝のミーティング、月2回の定例ミーティングを行うことにより地域活動交流と地域包括支援センターの協働を常に保ちます。

● 地域活動・交流事業

ア 地域の現状（課題）及び、これに対する施設の基本的な取り組みについて

高齢者が比較的多い地域であることから、包括支援センターと連携し、民生委員・児童委員、老人会、地域団体が主催する催しに参加し、情報交換を通じてニーズ把握に取り組めます。また、プラザの役割や介護予防の自主事業の紹介を行っています。

イ 福祉保健活動団体等が活動する場の提供について

地域の活動団体にプラザの貸室を利用して頂けるよう、隔月発行している広報紙でPRを行います。また、参加させて頂いた地域の会合の場においても利用を促すよう取り組めます。

ウ 運営協議会の開催時期・議題について

第1回 6月23日（水）

- 議題
- ・新役員紹介
 - ・平成21年度事業報告
 - ・平成22年度事業計画
 - ・新任職員紹介
 - ・質疑応答

第2回 11月

- 議題
- ・平成22年度事業経過報告

・ 他

エ ボランティア育成及びコーディネートについて

貸室利用団体のボランティア活動支援や活動のコーディネートを行います。また、プラザで活動して頂いているボランティアのスキルアップ講座の開催に取り組んでいきます。発行している広報紙にボランティア募集記事を掲載し、登録増に努めます。

オ 貸し館の稼働率目標、及び利用促進策について

プラザを多様な世代の地域住民・団体に利用して頂けるよう広報紙・講座等で周知を行います。また、参加させて頂いた自治会・民生委員・児童委員・老人会の会合の場においても利用を促すよう貸室の機能等の周知に取り組みます。

カ 福祉保健活動（インフォーマルサービス）の開発・新たな地域福祉の担い手の育成のための自主事業の展開について

地域包括支援センターと連携し、地域のニーズを把握しながら自主事業の企画・運営に努めます。運営においても、利用者・ボランティアからの意見（アンケート）等と伺いながら取り組みます。新たに企画している「ふみの会」「みんなで歌おう」については自主的なグループとして活動できるよう運営・支援に取り組みます。

キ 区行政との協働について

プラザ連絡会や区主催の会議等に参加し、区と協力しながら西区福祉保健計画の推進に努めます。また、地域住民が集まるケアプラザ祭の場において西区福祉保健計画のPR・推進に取り組みます。

● 地域包括支援センター事業

ア 地域包括支援センターの役割の周知や活用に関する工夫について

地域の会議・食事会・事業・プラザ祭り実施時に、地域包括支援センターの役割をお話し、チラシを配り何か困った事があればすぐに相談できる体制にある事をお伝えし、周知に努めます。

積極的に出張出前講座を行い、地域包括支援センターの役割説明や案内に努めます。

イ 介護予防の推進や地域づくりのための具体的方策について

地域の健康教室に参加し、独居や高齢者世帯の高齢者に対し運動プログラムを実施し、要介護状態にならないよう予防に努めます。

出張出前講座にて介護予防について説明し、また介護予防体操を行い、地域住民に介護予防の大切さを知ってもらいます。

地区別懇談会に出席し、地域のニーズを把握するために情報を収集し、課題を把握しできるだけ解決できるように取り組みます。

介護予防講座を実施し、一般高齢者に対して介護予防のきっかけ作りを行います。

ウ 介護予防ケアマネジメント事業

地域の民生委員と連携し、閉じこもりがちな高齢者宅へ訪問して、状態が悪くならないよう支援に努めます。

利用者に対ししっかりと予防サービスについての説明をし、要介護状態とならないよう、かつ自身で出来る部分ではできるだけ自分で行えるような介護予防プランを作成し、在宅生活を支援します。

エ 総合相談・支援事業

当プラザに来られない方のためにも、各地域で出張相談（出前講座）を行い、潜在的な問題把握と、幅広い方が相談を受けられるよう努めます。

地域の会議に定期的に参加することで、民生委員やシニアリブインの相談員との連携を強化し、地域の独居高齢者の相談などをスムーズに対応できるように努めます。

オ 権利擁護事業（現状・被保険者への虐待防止・早期発見等）

高齢者の虐待の恐れがあるケースは、早い段階で担当ケアマネジャー・区と連携をし、情報を共有しながら問題解決へ努めます。

西区が主催する「サポートネット」において事例提供し、専門職としての知識・技術の向上に努めます。

西区包括共催で権利擁護の講座を行い、地域に向けて啓発活動を実施します。

カ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

「顔のみえる関係作り」の土台を構築する手段として、積極的な民生委員との連携、地域の会議への出席に努めます。

ケアマネジャーの相談や関係機関からの情報提供があった場合、包括カンファレンスでの検討や担当者会議の開催（包括からのバックアップの参加）に努めます。

西区包括共催で、ケアマネジャー支援の為の研修を毎月行います。

キ 介護予防事業

体力向上プログラムにおいては地域交流と協働し宣伝活動につとめ、参加者の増加を目指していきます。また各町内会にも積極的に出向き、地域住民の方に対する事業の周知に努めてまいります。

ク 介護予防支援業務の取り組みに関する考え方（実施体制等）

≪職員体制≫ 地域包括支援センター

看護師	1名
主任ケアマネジャー	1名
社会福祉士	1名
介護支援専門員	1名

≪目標≫

高齢者の生活機能維持・向上のためにケアプランを作成し、適切にケアマネジメントを行い、定期的にモニタリングをし、都度プランの見直しをして、ご利用者が在宅で生活できるよう支援していきます。

≪実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）≫

- 介護予防支援のマネジメント業務に関して、実費負担なし。

≪その他≫

フットワークの軽さをモットーにしています。
気軽にご相談ください。

≪利用者見込み≫

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
130	130	130	130	140	140
10月	11月	12月	1月	2月	3月
140	130	130	120	120	130

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 入浴
- レクリエーション・体操

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分

（経過的要介護）	698 円
（要介護 1）	768 円
（要介護 2）	885 円
（要介護 3）	1,002 円
（要介護 4）	1,119 円
（要介護 5）	1,236 円
- 食費負担 650 円

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 10:00 ～ 16:05

《職員体制》

管理者	1名	機能訓練指導員	2名
生活相談員	4名	運転兼業務員	1名
看護職員	3名		
介護職員	15名		

《目標》

介護を必要とする高齢者を対象に、健康チェック・入浴・レクリエーションなどを行い、1日を楽しんでいただくこと

《その他》

おもてなしの心をモットーにしているスタッフが体操を取り入れたレクリエーションを行っています。
四季折々の花や、みどりに囲まれた落ち着いた環境です。

《利用者目標（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
770	780	770	785	785	775
10月	11月	12月	1月	2月	3月
790	780	770	780	750	780

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 入浴
- レクリエーション・体操

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要支援1） 2,408円
 - （要支援2） 4,656円
- 食費負担 650円

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 10:00 ~ 16:05

《職員体制》

管理者	1名	機能訓練指導員	2名
生活相談員	4名	運転兼業務員	1名
看護職員	3名		
介護職員	15名		

《目標》

自立支援—できることの能力を最大限に活かすお手伝いをします。

《その他》

おもてなしの心をモットーにしているスタッフが、体操を取り入れたレクリエーションを行っています。
四季折々の花や、みどりに囲まれた落ち着いた環境です。

《利用者目標（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
20	20	20	22	22	20
10月	11月	12月	1月	2月	3月
22	22	22	21	22	22

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者		1名
介護支援専門員	(専従常勤)	3名
	(常勤兼務)	1名

《目標》

「人権尊重とプライバシーの保護」「質の高い安定した福祉サービスの提供」を理念に、ご利用者ご家族の立場に立った信頼とフットワークで適切な援助をめざします。

住み慣れた地域で安心安全に過ごせるようよく相談させていただき、ケアプランを作成いたします。公正・中立な立場で社会資源のネットワークを活用し、ご利用者の自立支援をめざします。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

介護支援専門員が、通常のサービス実施地域を越える地域に訪問・出張する必要がある場合は、その旅費（実費）の負担をお願いすることがあります。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

研修・講習会等積極的に実施・参加し、職員の資質向上をはかります。

《利用者目標》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
100	100	110	110	110	120
10月	11月	12月	1月	2月	3月
120	130	130	130	130	130

<以上>

平成22年度 自主事業計画書

横浜市浅間台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
サロン「水仙会」	高齢者の自立支援と独居高齢者の安否確認。食事と交流の場・福祉保健に関する情報の提供。	毎月第3水曜日 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ミニサロン「心の散歩道」	高齢者の自立支援と独居高齢者の安否確認及び趣味作り。交流の場と福祉保健に関する情報提供。	毎月第4水曜日 (1・8月を除く) 年10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て支援「親子であそぼ！」	こどもの健全な育成の為の支援と親同士のネットワーク作りの場の提供。親子遊びや集団遊び・絵本の読み聞かせ。	0～2歳 毎月第1水曜日 (1・8月を除く) 年10回 2歳～未入園児 毎月第2水曜日 (1・8月を除く)年 10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
びすけっと	ボランティアの資質向上を図り、「親子であそぼ！」の活動の支援。子育て支援「親子であそぼ！」の計画・準備・実施。	概ね毎月第1・2水曜日 (1・8月を除く) 年20回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
男の料理教室	料理を通じて男性同士が交流し仲間作りの場。講師は、ヘルスマイトが担当	7月から4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
脳いきいきトレーニング講座	認知症予防。音読・計算・漢字の書き取り・簡単な体操。	毎月概ね第2,4火曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
給食・配食サービス	地域の独居高齢者等の社会的交流と食生活の改善及び安否確認。調理し会食会を実施。ケアプラザは調理場提供・配達業務補助を行う。	毎月第1～4金曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
もくよう会	転倒予防の為の体力作りを行うと同時に、閉じこもり防止。転倒骨折予防の発展教室として主に基礎教室修了者を対象とした体操。	毎月第2,4木曜日 年 24回

平成22年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
虹の会	転倒予防の為の体力作りを行うと同時に、閉じこもり防止。転倒骨折予防の発展教室として主に基礎教室修了者を対象とした体操。	毎月第2,4木曜日 年24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふみの会	独居高齢者の社会的交流・ボランティア育成。外出できない高齢者に手紙を送り、社会とのつながりの意識付けを図る。「ふみの会」に携わるボランティアの育成。	毎月第4金曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
絵手紙教室	趣味の絵手紙を通じて社会的交流・仲間作りの場	9回(8・12・2月を除く)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
さざなみ歌の会	社会的交流・仲間作りの場(閉じこもり防止)。童謡唱歌等を参加者みんなで歌う。	毎月第4月曜日

平成22年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
サロン「水仙会」	高齢者	240,000	120,000	120,000		240,000	
	25人 * 12回						
	400円						
ニサロン「心の散歩道」	高齢者	69,998	49,998	20,000	19,998	50,000	
	20人 * 10回						
	200円						
親子であそぼ！	未入園児・保護者	61,666	61,666	0	6,666	55,000	
	25組 * 10回						
	0円						
脳いきいきトレーニング講座	地域住民	0	0	0		0	
	25人 * 24回						
	0円						
ふみの会	高齢者・地域住民	36,000	36,000	0		36,000	
	10回						
	0円						
さざなみ歌の会	地域住民	28,664	-43,336	72,000	26,664	2,000	
	30人 * 12回						
	200円						
男の料理教室	男性地域住民	28,888	8,888	20,000	8,888	20,000	
	10人 * 4回						
	500円						
絵手紙教室	地域住民	29,997	2,997	27,000	29,997		
	10人 * 9回						
	300円						
ホームパーティーであそぼ！	未入園児・保護者	5,000		5,000		5,000	
	25人						
	大人1人200円						
浅間台地域ケアプラザまつり	地域住民	200,000	200,000			200,000	
	400人						
	0円						
ボランティア交流会	ボランティア活動者	10,000	10,000	0	0	10,000	
	10人						
	0円						
外国の文化とふれあおう	地域住民	22,666	12,666	10,000	6,666	16,000	
	20人						
	500円						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成22年度 地域ケアプラザ収支予算書(モデル)

施設名: 浅間台地域ケアプラザ

平成22年4月1日～平成23年3月31日
(単位: 千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援			
収入	指定管理料収入	15,492	22,712	535				
	介護保険収入				4,270	18,451	73,410	7,695
	その他							
	委託料(地域包括支援センター相談体制強化事業)							
	収入合計(A)	15,492	22,712	535	4,270	18,451	73,410	7,695
支出	人件費	10,689	20,039		1,800	15,371	33,886	
	事務費	623	355		500	700	10,000	
	事業費	1,154	1,656	535		600	13,000	
	管理費	2,491	662		250		16,000	
	その他							
	消費税	535						
支出合計(B)	15,492	22,712	535	2,250	17,271	72,886		
収支 (A) - (B)		0	0	0	2020	1180	524	7695

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。